

CloudWeek2026@Hokkaido University

「大学 DX 勉強会」のご案内

来る 8 月 31 日-9 月 2 日に開催される「CloudWeek2026@Hokkaido University」（北海道大学情報基盤センター主催、<https://www.iic.hokudai.ac.jp/news/3407/>）において、標記勉強会を下記要領にて実施いたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1. 目的・概要

国立情報学研究所が提供する「学認クラウド導入支援サービス」では、大学での DX 推進に係る取り組みを紹介し、情報交換や議論を通して大学 DX 推進に向けた課題を共有し、担当者のモチベーション向上に寄与することを目的として、「大学 DX 勉強会」を開催しています。

第 14 回となる今回は、本研究所と AXIES クラウド部会が連携し、同部会の企画セッションとして開催します。今回は DX の取り組みについて、大学と事業者の立場からそれぞれお話しただいて議論します。大学・研究機関の関係者および大学等への提案を検討中の企業関係者など、どなたでもご参加いただけます。

2. 開催日時

2026 年 9 月 1 日(火) 15:15-17:15

3. 会場

- ・オンサイト会場：北海道大学 学術交流会館 小講堂
(北海道札幌市北区北 8 条西 5 丁目)

交通アクセス：<https://www.hokudai.ac.jp/bureau/property/s01/access/>

- ・オンライン：参加申し込みいただいた方に追ってご連絡差し上げます。

4. プログラム

[1] 講演（敬称略）

「これから始める大学事務 DX—紙中心の業務から AI 活用へ、何から始めればよいのか？」

萩原 茂樹（公立千歳科学技術大学）

「事務 DX をひろげる・事務 DX でつながる」

櫻井 拓仁（新潟大学）

「教育の質保証を支える DX ～教学 IR・e ポートフォリオを活用した教学マネジメントの実践～」

増田 貴宏（北海道科学大学）

「大学 DX 推進における事業者の役割と、大学とのパートナーシップへの期待」

林 直樹（富士電機 IT ソリューション株式会社）

[2] ディスカッション

参加者全員で議論します。

5. 参加方法

オンサイト開催ですが、本勉強会のみ大学・研究機関向けにリアルタイム配信します。

オンサイトとオンラインで申込方法が異なりますのでご注意ください。

当日の議論に参加したい方はオンサイトにお越しください。

6. 費用

無料

7. 定員

オンサイト：182 名

当日の現地お申し込みも可能ですが、定員に達した場合は入室できない場合があります。

8. 申込方法

・ オンサイト

以下の【参加申込方法】より、【8月28日(金)正午までに】お申し込みください。

<https://www.iic.hokudai.ac.jp/news/3407/>

・ オンライン

配信リソースの関係で大学・研究機関の方に限定させていただきますので、それ以外の方はオンサイトでご参加ください。

以下より、【8月28日(金)正午まで（厳守）に】お申し込みください。大学 DX 勉強会の前日までに、Webex URL をメール送付いたします。

https://reg.nii.ac.jp/m/dxseminar_20260901

9. その他

最新の情報は、以下のページをご参照ください。

大学 DX 勉強会：<https://cloud.gakunin.jp/universitydx/>

第 14 回：<https://cloud.gakunin.jp/universitydx/detail/20260901-dx14>

本勉強会に関する問合せ先：

国立情報学研究所

学術基盤推進部 学術基盤課 クラウド支援室

E-mail： cld-office-event@nii.ac.jp